

施策評価シート【分野別施策】

| 施策名 | | 関係部 |
|-----|-------------|-------------|
| 1-① | 子どもの学びを充実する | 学校教育部、社会教育部 |

所管事業に関連する成果指標

| 指標名 | 単位 | 計画 策定時 | 実績値 | | | | 目標値 31年度 |
|-----------------------------------|-----|-----------|------|------|------|-------|-------------|
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| 授業（国語、算数・数学）の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合 | 小学校 | % | 77.2 | 77.2 | 77.3 | 76.35 | 78.5 |
| | 中学校 | % | 69.0 | 69.0 | 67.1 | 70.9 | 70.5 |
| 自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合 | 小学校 | % | 73.9 | 73.9 | 72.2 | 74.0 | 74.5 |
| | 中学校 | % | 67.5 | 67.5 | 65.1 | 69.1 | 68.5 |

関連事業

○生きる力を育む学校づくり推進事業○地域に根ざした教育推進事業○外国人英語指導者の学校訪問事業○英語教育推進事業○幼・保・小・中連携の推進事業○道徳教育推進事業○日本語指導協力者派遣事業○子ども読書活動推進事業

決算額

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|---------|--------|--------|------|------|
| 事業費（千円） | 75,033 | 74,678 | | |
| 執行率（%） | 99.34 | 98.65 | | |

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 小学校10校にタブレット型端末を導入するとともにその他の学校にもタブレット型端末の貸出を行い、情報教育を学ぶ環境を整えました。
- 授業づくり推進員による公開授業や中学校計画訪問等を実施し、教員の授業力向上を図りました。
- 外国人英語指導者が各学校（園）に計画的に訪問し指導することで、幼児・児童・生徒の英語に対する興味・関心を高め、英語や外国の生活・文化に親しむ態度を育成しました。
- 講師招聘による教員の研修会・学習会等を実施することで、教員の外国語活動の授業実践力を高め、児童の外国語におけるコミュニケーション能力の育成を図りました。また、中学校では、生徒の実用英語技能検定受検に対する奨励金を交付することで、学習意欲を高めました。
- 幼・保・小・中連携学習研究会等を通して指導のあり方や指導上の問題点等について研究協議することで、幼稚園、こども園、保育所、小学校、中学校の指導の一貫性を図り、

相互に理解を深め、各学校（園）における就学前教育と小学校及び小学校と中学校との連携・交流を推進しました。

●児童・生徒の道徳的実践力を育成するため、公開授業を通じた授業研究会を小・中学校において実施し、児童・生徒の心に響く道徳教育の充実を図りました。

●日本語指導が必要である幼児・児童・生徒に対して、日本語指導協力者の派遣を行い、日本語の習得や学校生活への適応を図りました。

●学校や地域の特性を生かした教育課程を編成し、ふれあい教育や総合的な学習の時間の推進、芸術鑑賞の推進、体験学習の充実等を図ることで、幼児・児童・生徒の豊かな人間性と生きる力を育む学校づくりを推進しました。

●各中学校区の子ども読書活動推進協議会代表者会議の開催や、図書ボランティア学習会など図書ボランティアの交流のためのイベントを通じて、読書活動の推進を図りました。市民と行政の協働による子ども読書活動推進フォーラムの開催などにより、読書の大切さを広く啓発しました。

| 施策を推進する上での「課題」 | 課題解決を図るための「取組方針」 |
|---|--|
| <p>●ICT 機器が使いやすい環境を整備していく必要があります。</p> <p>●学習指導要領の改訂による小・中学校における英語教育の充実と教員の英語力及び英語指導力向上を図ることが必要です。</p> <p>●児童・生徒が英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲を一層高めるような授業を展開することが必要です。</p> <p>●幼・保・小・中連携学習研究会等において、各学校（園）での連携の取組をさらに進めるには支援が必要です。</p> <p>●特別の教科道徳の実施に当たり、道徳科に関する情報提供や、担当者会実施等の支援により、道徳教育の推進・充実を図ることが必要です。</p> | <p>●タブレット型端末を中心に、普通教室で使用できる機器を整備することで、一層の環境の充実を図ります。</p> <p>●講師招聘研修では、実施校を2校設置し複数回訪問し、サマー研修では、英語教育推進リーダー等によるワークショップを実施することで、一層の指導力向上を図ります。</p> <p>●児童・生徒が英語に触れる機会を充実するとともに授業を実際のコミュニケーションの場面とするために、外国人英語指導者とともに指導を行います。</p> <p>●連携の取組をさらに進めるために、各中学校区の具体的な取組の状況や課題を共有します。また、就学前教育と小学校の連携のため、スタートカリキュラム作成を促します。</p> <p>●道徳教育の充実のために、公開授業を通じた授業研究会や担当者会において、小・中学校の連携を図るとともに、道徳科に関する内容を精選します。</p> |

●平塚市の学校（園）には、日本語指導を必要とする幼児・児童・生徒が多く在籍しているため、一人一人のニーズに応じて日本語指導や生活適応指導等を行う必要があります。

●地域の教育資源を生かし、学校や生徒のニーズに合った領域分野に活用できるように、引き続き検討していく必要があります。

●子どもたちの実態や地域の特性を生かした内容を教育課程に組み入れた主体的な取組が必要です。

●地域の実情にあった図書ボランティア活動を尊重しつつ、各地域の活動を充実させることが必要です。

●幼児・児童・生徒及び学校のニーズに応じた日本語指導協力者を派遣します。

●地域の大学生がボランティアとして、授業等で生徒たちの学習支援を行うなど、学校の教育活動をサポートする活動を推進します。

●子どもたちの実態や地域の特性を生かした学びを充実させるため、地域との更なる連携に向けた協議・情報交換の場を確保します。

●読書活動の推進を図るため、図書ボランティアが、より充実した活動ができるよう、図書に関する情報提供や講習実施などのサポートに努めます。